

検討の背景及び検討事項について

1 背景

危険物を大量に貯蔵する屋外タンク貯蔵所は、危険物が流出した場合の影響が大きいことから、過去に発生した地震を教訓に技術基準の見直しを重ね、東北地方太平洋沖地震でも、危険物の流出事故はほとんど報告されておらず、有識者を踏まえた検討会においても、現行基準は妥当なものとしてされている。

しかしながら、中央防災会議等において、従来の想定を超えるような南海トラフ地震等の想定地震動の検討も進んでおり、新たな大規模な地震に対する屋外タンク貯蔵所の耐震安全性について検討を行う必要があることから、屋外タンク貯蔵所の耐震安全性に係る調査検討会（以下、「検討会」という。）を開催するもの。

2 検討事項

屋外タンク貯蔵所の耐震安全性について、以下のような事項について、3ヶ年の予定で検討を行う。

(1) 屋外タンク貯蔵所のタンク本体の耐震安全性に関する事項

南海トラフ地震等の短周期地震動に対する屋外タンク貯蔵所のタンク本体の耐震安全性について、数値解析等により安全性を検討する。

(2) 屋外タンク貯蔵所の基礎・地盤の耐震安全性に関する事項

南海トラフ地震等の地震動に対する屋外タンク貯蔵所の基礎・地盤について、液状化の有無等について、数値解析等により安全性を検討する。

(3) 屋外タンク貯蔵所の浮き屋根の耐震安全性に関する事項

南海トラフ地震等の長周期地震動に対する屋外タンク貯蔵所の浮き屋根について、液面揺動（スロッシング）による耐震安全性について、数値解析等により安全性を検討する。

(4) 屋外タンク貯蔵所の総合的な耐震安全性に関する事項

(1)から(3)の検討を踏まえ、屋外タンク貯蔵所の耐震安全性について、相互の影響を考慮した総合的な耐震安全性について検討する。